

ツクランカー「あんぜん」

単元計画案

筑波大学附属小学校 教諭 辻 健

1. 活動にあたって

学校や通学路に潜む危険を察知し、ものづくりによって危険を防ぎ、安全にしていく。自分たちが何気なく使ったり、過ごしたりしていた場所をより安全にするためには、どのような視点で生活を見つめ直すべきか、また、ものづくりを行う際には、似ているものからヒントを得たり、試行錯誤を繰り返したりすることの大切さを感じるようとする。

2. 展開例（全15時間）

時	活動	児童の反応	キーワード
1	「ツクランカー」①を見て活動の見通しをもつ。 ※ワークシート①	・おもしろそう。 ・身の回りのものをもっと安全に便利にしてみたい。	危険を見つける目 予知
2	学校のどんなところを安全にするのかを話し合う。	・安全にすべきところを詳しく見る。 ・保健室のけがしらべを表にしよう。 ・傘たての周りに水があるから危険 ・滑りやすい場所があるよ。	見つける目 比較する 予知できる
3 4	それぞれ、改善したい場所や物に分かれプロジェクト化し、グループでの活動を行う。	・どこで転んでしまうのかな? ・どうして転びやすいのかな? ・こういうアイデアがあるけど。 ・ギザギザするものを付けてみよう。 ・目印をつけるとか?	問題設定 予知できる 焦点を絞る
5	「ツクランカー」②を見て問題解決の糸口をさぐる ※ワークシート②	・似ている物をヒントにしよう。 ・駅や建物ではどうしているのかな。 ・試作をくりかえせばいいのか。	情報収集 似ている物 挑戦
6 10	試作から、試行錯誤を繰り返す ※ワークシート③ (もっとよい作品にするためにお互いの意見を伝えあうシートです)	・滑りそうな場所は、知らせるというやり方があるね。 ・気付くようテープの色を変えよう。 ・滑り止めも雨の時は効き目がない。 ・滑り止めの種類を変えてみよう。	試行錯誤 失敗から学ぶ 批判的思考
11 15	安全・安心フェスタを開いて、安全に過ごす大切さを呼びかけよう。	・みんなに自分たちが行ってきた、安全に変えていくやり方を分かりやすく説明しよう。	表現力 伝える力 更なる課題

3. 活動を行う際に留意したいこと

「あんぜん」の回では『使う人の目線で考えること』や『似ているものからヒントを得ること』『予知をすることで危険を察知できること』などを子供が活動を通して味わえるようにすることが肝要です。ものが出来た喜びと共に味わえるよう支援しましょう。